



# Cisco Emergency Responder の Cisco Unified Operating System Administration Web インターフェイス

---

次のトピックでは、Cisco Emergency Responder (Emergency Responder) の Cisco Unified Operating System (OS) Administration Web インターフェイスについて説明します。

- [ServerGroup, 2 ページ](#)
- [Hardware Status, 2 ページ](#)
- [Network Configuration, 3 ページ](#)
- [Software Packages, 5 ページ](#)
- [System Status, 6 ページ](#)
- [IP Preferences, 7 ページ](#)
- [Ethernet Configuration, 8 ページ](#)
- [Publisher Settings, 9 ページ](#)
- [NTP Server List, 10 ページ](#)
- [SMTP Settings, 12 ページ](#)
- [Time Settings, 13 ページ](#)
- [Version Settings, 13 ページ](#)
- [Certificate List, 15 ページ](#)
- [Certificate Monitor, 20 ページ](#)
- [IPSec Policy List, 21 ページ](#)
- [Software Installation/Upgrade, 24 ページ](#)
- [Ping Configuration, 25 ページ](#)

- [Remote Access Configuration, 26 ページ](#)

## ServerGroup

[Show] > [ServerGroup] を選択すると、[ServerGroup] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[ServerGroup] ページは、サーバグループ内の Emergency Responder サーバに関する情報を表示するために使用します。

表 1 : [ServerGroup] ページ, (2 ページ) に、[ServerGroup] ページの説明を示します。

表 1 : [ServerGroup] ページ

フィールド	説明
<b>ServerGroup</b>	
Hostname	ホストの名前が表示されます。
IP Address	ホストの IP アドレスが表示されます。
Alias	ホストのエイリアスが表示されます。
Type of Node	ホストのノードタイプが表示されます。

### 関連トピック

[ハードウェア ステータスの表示](#)

## Hardware Status

[Show] > [Hardware] を選択すると、[Hardware Status] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[Hardware Status] ページを使用して、Emergency Responder ハードウェアに関する情報を表示します。

表 2 : [Hardware Status] ページ, (3 ページ) に、[Hardware Status] ページの説明を示します。

表 2 : [Hardware Status] ページ

フィールド	説明
<b>Hardware Resources</b>	
Platform Type	プラットフォーム サーバのモデル ID
Processor Speed	プロセッサの速度
CPU Type	プラットフォーム サーバのプロセッサのタイプ
Memory	メモリの合計量 (MB)
Object ID	プラットフォーム サーバのオブジェクト ID
OS Version	プラットフォーム サーバで稼働しているオペレーティング システムのバージョン
RAID Details	プラットフォーム ハードウェアの詳細な要約

#### 関連トピック

[ハードウェア ステータスの表示](#)

## Network Configuration

[Show] > [Network] を選択すると、[Network Configuration] ページが表示されます。

#### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

#### 説明

[Network Configuration] ページは、ネットワーク設定に関する情報を表示するために使用します。



- (注) 表示されるネットワーク ステータス情報は、ネットワーク耐障害性が有効になっているかどうかによって異なります。ネットワーク耐障害性が有効になっていると、イーサネット ポート 0 に障害が発生した場合、イーサネット ポート 1 が自動的にネットワーク通信を継承します。ネットワーク耐障害性が有効になっている場合、ネットワーク ポートのイーサネット 0、イーサネット 1、および Bond 0 のネットワーク ステータス情報が表示されます。ネットワーク耐障害性が有効になっていない場合、イーサネット 0 のステータス情報のみが表示されません。

表 3 : [Network Configuration] ページ, (4 ページ) に、[Network Configuration] ページの説明を示します。

表 3 : [Network Configuration] ページ

フィールド	説明
<b>Ethernet Details</b>	
DHCP Status	イーサネット ポート 0 に対して DHCP が有効になっているかどうかを示します。
Status	イーサネット ポート 0 および 1 について、ポートがアップまたはダウンのどちらであるかを示します。
IP Address	イーサネット ポート 0 の IP アドレス (ネットワーク耐障害性 (NFT) がイネーブルの場合はイーサネット ポート 1 も) が表示されます。
IP Mask	イーサネット ポート 0 の IP マスク (NFT がイネーブルの場合はイーサネット ポート 1 も) が表示されます。
Link Detected	アクティブ リンクが存在するかどうかを示します。
Queue Length	キューの長さが表示されます。
MTU	最大伝送単位が表示されます。
MAC Address	ポートのハードウェア アドレスが表示されます。
RX Stats	受信したバイト数およびパケット数に関する情報が表示されます。
TX Stats	送信したバイト数およびパケット数に関する情報が表示されます。
<b>DNS Details</b>	
Primary DNS	プライマリ ドメイン ネーム サーバの IP アドレスが表示されます。
Secondary DNS	セカンダリ ドメイン ネーム サーバの IP アドレスが表示されます。

フィールド	説明
Options	試行およびタイムアウトの回数が表示されます。
Domain	サーバのドメインが表示されます。
Gateway	イーサネット ポート 0 のネットワーク ゲートウェイの IP アドレスが表示されます。

### 関連トピック

[ネットワーク ステータスの表示](#)

## Software Packages

[Show] > [Software] を選択すると、[Software Packages] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[Software Packages] ページは、ソフトウェアのバージョンおよびインストールされているソフトウェア オプションを表示するために使用します。

表 4 : [Software Packages] ページ, (5 ページ) に、[Software Packages] ページの説明を示します。

表 4 : [Software Packages] ページ

フィールド	説明
Partition Versions	アクティブ パーティションと非アクティブ パーティションで実行中のソフトウェアのバージョンが表示されます。
Active Version Installed Software Options	アクティブ バージョンにインストールされたソフトウェア オプションのバージョンが表示されます。
Inactive Version Installed Software Options	非アクティブ バージョンにインストールされたソフトウェア オプションのバージョンが表示されます。

### 関連トピック

[インストールされているソフトウェアの表示](#)

## System Status

[Show] > [System] を選択すると、[System Status] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[System Status] ページは、Emergency Responder システムのステータスを表示するために使用します。

表 5 : [System Status] ページ, (6 ページ) に、[System Status] ページの説明を示します。

表 5 : [System Status] ページ

フィールド	説明
Host Name	Emergency Responder システムがインストールされている Cisco MCS ホストの名前
Date	オペレーティング システムのインストール時に指定された大陸と地域に基づく日時
Time Zone	インストール時に選択されたタイムゾーン
Locale	システムのロケール
Product Version	オペレーティング システムのバージョン。
Platform Version	プラットフォームのバージョン
Uptime	システムのアップタイム情報が表示されます。
CPU	CPU のキャパシティのうち、アイドル状態である割合、システム プロセスを実行している割合、ユーザ プロセスを実行している割合がそれぞれパーセント単位で表示されます。
Memory	メモリの使用状況に関する情報（メモリの合計量、メモリの空き容量、メモリの使用量）がそれぞれ KB 単位で表示されます。
Disk/active	アクティブなディスクの容量の合計、空き容量、使用量が表示されます。
Disk/inactive	非アクティブなディスクの容量の合計、空き容量、使用量が表示されます。

フィールド	説明
Disk/logging	ディスク ロギング用のディスクの容量の合計、空き容量、使用量が表示されます。

## 関連トピック

[システム ステータスの表示](#)

# IP Preferences

[Show] > [IP Preferences] を選択すると、[IP Preferences] ページが表示されます。

## 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

## 説明

[IP Preferences] ページは、システムで使用可能な登録済みポートのリストを表示するために使用します。表 6 : [IP Preferences] ページ, (7 ページ) に、[IP Preferences] ページの説明を示します。

表 6 : [IP Preferences] ページ

フィールド	説明
Application	ポートを使用 (リッスン) しているアプリケーションの名前。
Protocol	このポートで使用されているプロトコル (TCP や UDP など) 。
Port Number	数字のポート番号。
Type	このポートで許可されるトラフィックのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Public] : すべてのトラフィックが許可される</li> <li>• [Translated] : すべてのトラフィックが許可されるが、別のポートに転送される</li> <li>• [Private] : 定義済みの一連のリモート サーバ (サーバグループの他のサーバなど) からのトラフィックのみが許可される</li> </ul>
Translated Port	このポートを宛先とするトラフィックは、[Port Number] 列に表示されているポートに転送されます。このフィールドが適用されるのは、[Translated] タイプのポートのみです。

フィールド	説明
Status	ポートの使用状況。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Enabled] : アプリケーションで使用されており、ファイアウォールで開かれている</li> <li>• [Disabled] : ファイアウォールでブロックされていて、未使用状態</li> </ul>
Description	ポートの使用状況に関する簡単な説明。

### 関連トピック

[IP 設定の表示](#)

## Ethernet Configuration

[Settings] > [IP] > [Ethernet] を選択すると、[Ethernet Configuration] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[Ethernet Configuration] ページは、イーサネット設定を表示または変更するために使用します。



(注) イーサネット設定はすべて Eth0 にのみ適用されます。Eth1 を対象とした設定はできません。Eth0 の最大伝送単位 (MTU) のデフォルトは 1500 です。

表 7 : [Ethernet Configuration] ページ, (8 ページ) に、[Ethernet Configuration] ページの説明を示します。

表 7 : [Ethernet Configuration] ページ

フィールド	説明
<b>DHCP Information</b>	
DHCP	DHCP がイネーブルまたはディセーブルであるかが示され、プルダウンメニューを使用して DHCP 設定を変更できます。
<b>Host Information</b>	
Hostname	サーバ名が表示されます (表示のみ。設定できません)。

フィールド	説明
<b>Port Information</b>	
IP Address	システムの IP アドレスが表示されます。新しい IP アドレスをテキストボックスに入力して、IP アドレスを変更できます。
Subnet Mask	IP サブネット マスク アドレスが表示されます。新しいサブネット マスクをテキストボックスに入力して、マスクを変更できます。
<b>Gateway Information</b>	
Default Gateway	デフォルトのネットワーク ゲートウェイの IP アドレスが表示されます。新しい IP アドレスをテキストボックスに入力して、ゲートウェイ IP アドレスを変更できます。
[Save] ボタンまたはアイコン	[Ethernet Configuration] ページのすべての変更内容を保存します。 <b>注意</b> [Save] をクリックすると、マシンはリブートします。システムをシャットダウンしてリブートしない場合は [Save] をクリックしないでください。 <b>(注)</b> 新しい IP アドレスを認識するには、サーバグループ内の両方のサーバを手動でリブートする必要があります。

#### 関連トピック

[イーサネット設定のセットアップ](#)

## Publisher Settings

[Settings] > [IP] > [Publisher] を選択すると、[Publisher Settings] ページが表示されます。

#### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

#### 説明

[Publisher Settings] ページは、パブリッシャのホスト名または IP アドレスを表示または変更するために使用します。



(注) パブリッシャのホスト名または IP アドレスは、Emergency Responder サブスクリバでのみ表示および変更が可能で、Emergency Responder パブリッシャ自体ではできません。これらのフィールドの変更後には、Subscriber をただちにリブートする必要があります。

表 8 :

フィールド	説明
Hostname	この Subscriber の Emergency Responder Publisher のホスト名が表示されます。ホスト名を変更するには、テキストボックスに新しいホスト名を入力して、[Save] をクリックします。
IP Address	このサブスクライバの Emergency Responder パブリッシャの IP アドレスが表示されます。IP アドレスを変更するには、テキストボックスに IP アドレスを入力して、[Save] をクリックします。
[Save] ボタンまたはアイコン	[Publisher Configuration Settings] ページの情報を保存します。

### 関連トピック

[Emergency Responder サーバの IP アドレスの変更](#)

## NTP Server List

[Settings] > [NTP Servers] を選択すると、[NTP Server List] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[NTP Server List] ページは、NTP サーバを追加、変更、または削除するために使用します。パブリッシャ上では NTP サーバ設定しか構成することができません。



(注) 外部 NTP サーバが Stratum 9 以上 (1 ~ 9) であることを確認してください。



(注) NTP サーバに対する変更は、完了するまで最大で 5 分かかる場合があります。NTP サーバを変更する場合、ページを更新して正しいステータスを表示する必要があります。



注意 NTP サーバを追加、変更、または削除した場合は、パブリッシャとサブスクライバの両方をリブートする必要があります。

表 9 : [\[NTP Server List\] ページ](#), (11 ページ) に、[NTP Server List] ページの説明を示します。

表 9 : [NTP Server List] ページ

フィールド	説明
<b>Status</b>	見つかった設定済みの NTP サーバの台数が表示されます。
<b>NTP Server</b>	
[Hostname] または [IP Address] フィールド	設定済みの NTP サーバのホスト名または IP アドレスが表示されます。ホスト名または IP アドレスを変更するには、それをクリックして、新しいホスト名または IP アドレスを入力し、[Save] をクリックします。
[Add New] ボタン または アイコン	新しい NTP サーバを追加します。[Add New] をクリックした後に、新しい NTP サーバの IP アドレスのホスト名を入力し、[Save] をクリックします。
[Select All] ボタン または アイコン	一覧表示されたすべての NTP サーバを選択します。このボタンまたはアイコンをクリックすると、それぞれの NTP ホスト名または IP アドレスの左側と [Hostname] または [IP Address] 列見出しの左側にあるボックスにチェックマークが表示されます。  (注) [Select All] ボタンまたはアイコンは、1 つ以上の NTP サーバが以前に設定されている場合にのみ表示されます。
[Clear All] ボタン または アイコン	一覧表示されたすべての NTP サーバを選択解除します。このボタンまたはアイコンをクリックすると、すべてのチェックマークがオフになります。  (注) [Clear All] ボタンまたはアイコンは、1 つ以上の NTP サーバが以前に設定されている場合にのみ表示されます。
[Delete Selected] ボタン または アイコン	選択された NTP サーバを削除します。NTP サーバを削除するには、まず NTP サーバの一覧から選択する必要があります。NTP サーバ名の左側にあるボックスをクリックするとそれが選択されます。一覧表示されたすべての NTP サーバを選択するには、[Hostname] または [IP Address] 列見出しの左側にあるボックスをクリックするか、[Select All] をクリックします。  (注) [Delete Selected] ボタンまたはアイコンは、1 つ以上の NTP サーバが以前に設定されている場合にのみ表示されます。

表 10 : [NTP Server Configuration] ページ, (11 ページ) に、[NTP Server Configuration] ページの説明を示します。

表 10 : [NTP Server Configuration] ページ

フィールド	説明
<b>Status</b>	見つかった設定済みの NTP サーバの台数が表示されます。
<b>NTP Server Settings</b>	

フィールド	説明
[Hostname] または [IP Address] フィールド	設定済みの NTP サーバのホスト名または IP アドレスが表示されます。ホスト名または IP アドレスを変更するには、それをクリックして、新しいホスト名または IP アドレスを入力し、[Save] をクリックします。
[Save] ボタンまたはアイコン	新しい NTP サーバに関する情報を保存します。

### 関連トピック

[NTP サーバのセットアップ](#)

## SMTP Settings

[Settings] > [SMTP] を選択すると、[SMTP Settings] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[SMTP Settings] ページは、SMTP ホストを手動で設定するために使用します。

表 11 : [SMTP Settings] ページ, (12 ページ) に、[SMTP Settings] ページの説明を示します。

表 11 : [SMTP Settings] ページ

フィールド	説明
<b>Status</b>	[SMTP Settings] ページのステータスが表示されます。
<b>SMTP Host</b>	
[Hostname] または [IP Address]	SMTP サーバのホスト名または IP アドレスをテキスト ボックスに入力します。
Host Status	SMTP ホスト サーバのステータスを表示します。
[Save] ボタンまたはアイコン	[SMTP Settings] ページの変更内容を保存します。

### 関連トピック

[SNMP 接続のセットアップ](#)

## Time Settings

[Settings] > [Time] を選択すると、[Time Settings] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[Time Settings] ページは、サーバ時刻を手動で設定するために使用します。



(注) サーバ時刻を手動で設定するには、設定済みのNTPサーバをすべて削除する必要があります。詳細については、[NTP Server List](#)、(10 ページ) を参照してください。



注意 サーバ時刻を変更した場合は、パブリッシャとサブスクライバの両方をリポートする必要があります。

表 12 : [Time Settings] ページ、(13 ページ) に、[Time Settings] ページの説明を示します。

表 12 : [Time Settings] ページ

フィールド	説明
Date	プルダウンメニューを使用して、月、日、年、時間、分、および秒を設定できます。
[Save] ボタンまたはアイコン	[Time Settings] ページの変更内容を保存します。

### 関連トピック

[NTP Server List](#)、(10 ページ)

[NTP サーバのセットアップ](#)

[時刻設定のセットアップ](#)

## Version Settings

[Settings] > [Version] を選択すると、[Version Settings] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[Version Settings] ページは、システムを再起動またはシャットダウンしたり、ソフトウェアバージョンを切り替えたりするために使用します。



(注) バージョンを切り替えるには、別のソフトウェアバージョンを非アクティブパーティションにインストールしておく必要があります。



注意 このアクションを開始すると、システムが再起動して、一時的に使用できなくなります。

表 13 : [Version Settings] ページ, (14 ページ) に、[Version Settings] ページの説明を示します。

表 13 : [Version Settings] ページ

フィールド	説明
Status	現在のステータスが表示されます。
<b>Installed Versions</b>	
Active Version	アクティブパーティションで動作しているバージョンが表示されます。
Inactive Version	非アクティブパーティションのバージョンが表示されます。
[Restart] ボタンまたはアイコン	システムを再起動します。
[Shutdown] ボタンまたはアイコン	システムをシャットダウンします。
[Switch Versions] ボタンまたはアイコン	非アクティブパーティションのソフトウェアバージョンをアクティブにします。  (注) [Switch Versions] ボタンまたはアイコンは、非アクティブパーティションにソフトウェアバージョンがインストールされている場合にのみ表示されます。

### 関連トピック

[ソフトウェアバージョンの管理](#)

# Certificate List

[Security] > [Certificate Management] を選択すると、[Certificate List] ページが表示されます。

## 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

## 説明

[Certificate List] ページを使用して、次の操作を実行します。

- 既存の証明書を検索する
- 新しい証明書を作成する
- 証明書をアップロードする
- CTL をアップロードする
- CSR を作成する

表 14 : [Certificate List] ページ, (15 ページ) に、[Certificate List] ページの説明を示します。

表 14 : [Certificate List] ページ

フィールド	説明
Status	現在のステータスが表示されます。
Certificate List	

フィールド	説明
Find certificate list where	<p>検索する証明書リストの検索条件を入力します。</p> <p>すべての証明書リストをファイル名で検索するには、プルダウンメニューから [File Name] を選択して、何も条件を入力せずに [Find] をクリックします。</p> <p>すべての証明書リストを証明書名で検索するには、プルダウンメニューから [Certificate Name] を選択して、何も条件を入力せずに [Find] をクリックします。</p> <p>検索を絞り込むには、次の手順に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プルダウンメニューから検索関係 ([begins with] や [contains] など) を選択して、テキストボックスに検索文字列を入力します。</li> <li>• フィールドの組み合わせを検索するには、<b>プラス</b> アイコン (+) をクリックして新しい検索パラメータを追加します。検索パラメータを削除するには、<b>マイナス</b> アイコン (-) をクリックします。追加したすべての検索パラメータを削除するには、[Clear Filter] をクリックします。</li> <li>• [Rows per Page] プルダウンメニューを使用して、ページ単位で表示する行数を選択します。</li> </ul> <p>すべての検索パラメータを入力したら、[Find] をクリックします。</p> <p>既存の証明書が見つかった場合は、[Certificate List] に証明書に関する情報 (ファイル名、証明書名、および証明書タイプ) が表示されます。</p> <p>[File Name] リンクをクリックすると、[Certificate Configuration] ページが表示されます。[Certificate Configuration] ページの詳細については、<a href="#">表 20 : [Certificate Configuration] ページ, (19 ページ)</a> を参照してください。</p>
[Generate New] ボタン またはアイコン	<p>新しい証明書を生成できます。[Generate New] をクリックすると、[Generate Certificate] ページが表示されます。[Generate Certificate] ページの説明については、<a href="#">表 15 : [Generate Certificate] ページ, (17 ページ)</a> を参照してください。</p>
[Upload Certificate] ボタン またはアイコン	<p>リモートサーバから証明書をアップロードすることができます。[Upload Certificate] をクリックすると、[Upload Certificate] ページが表示されます。[Upload Certificate] ページの説明については、<a href="#">表 16 : [Upload Certificate] ページ, (18 ページ)</a> を参照してください。</p>

フィールド	説明
[Upload CTL] ボタンまたはアイコン	リモートサーバから証明書信頼リスト (CTL) をアップロードすることができます。[Upload CTL] をクリックすると、[Upload Certificate Trust List] ページが表示されます。[Upload Certificate Trust List] ページの説明については、 <a href="#">表 17 : [Upload CTL] ページ, (18 ページ)</a> を参照してください。
[Generate CSR] ボタンまたはアイコン	新しい Certificate Signing Request (CSR; 証明書署名要求) を作成することができます。[Generate CSR] をクリックすると、[Generate Certificate Signing Request] ページが表示されます。[Generate New] ページの説明については、 <a href="#">表 18 : [Generate CSR] ページ, (19 ページ)</a> を参照してください。
[Download CSR] ボタンまたはアイコン	CSR をダウンロードすることができます。[Download CSR] をクリックすると、[Download Certificate Signing Request] ページが表示されます。[Download Certificate Signing Request] ページの説明については、 <a href="#">表 19 : [Download CSR] ページ, (19 ページ)</a> を参照してください。

[表 15 : \[Generate Certificate\] ページ, \(17 ページ\)](#) に、[Generate Certificate] ページの説明を示します。

**表 15 : [Generate Certificate] ページ**

フィールド	説明
<b>Status</b>	[Generate Certificate] ページの現在のステータスが表示されます。
<b>Generate Certificate</b>	
Certificate Name	プルダウンメニューから証明書名を選択することができます。
[Generate New] ボタンまたはアイコン	新しい証明書を作成します。最初に、プルダウンメニューから証明書名を選択する必要があります。
[Close] ボタンまたはアイコン	[Generate Certificate] ページを閉じます。

[表 16 : \[Upload Certificate\] ページ, \(18 ページ\)](#) に、[Upload Certificate] ページの説明を示します。

表 16 : [Upload Certificate] ページ

フィールド	説明
Status	[Upload Certificate] ページの現在のステータスが表示されます。
<b>Upload Certificate</b>	
Certificate Name	プルダウンメニューを使用して、アップロードする証明書の名前を選択します。
Root Certificate	ルート証明書の名前を入力します。
Upload File	[Browse] ボタンを使用して、アップロードするファイルを選択します。
[Upload File] ボタンまたはアイコン	[Upload Certificate] セクションで指定した証明書ファイルをアップロードします。
[Close] ボタンまたはアイコン	[Update Certificate] ページを閉じます。

表 17 : [Upload CTL] ページ, (18 ページ) に、[Upload CTL] ページの説明を示します。

表 17 : [Upload CTL] ページ

フィールド	説明
Status	[Upload CTL] ページの現在のステータスが表示されます。
<b>Upload Certificate</b>	
Certificate Name	プルダウンメニューを使用して、アップロードする CTL ファイルの名前を選択します。
Root Certificate	ルート証明書の名前を入力します。
Upload File	[Browse] ボタンを使用して、アップロードするファイルを選択します。
[Upload File] ボタンまたはアイコン	[Upload Certificate Trust List] セクションで指定した証明書ファイルをアップロードします。
[Close] ボタンまたはアイコン	[Update CTL] ページを閉じます。

表 18 : [Generate CSR] ページ, (19 ページ) に、[Generate CSR] ページの説明を示します。

表 18 : **[Generate CSR]** ページ

フィールド	説明
<b>Status</b>	[Generate CSR] ページの現在のステータスが表示されます。
<b>Generate Certificate Signing Request</b>	
Certificate Name	プルダウン メニューを使用して、作成する CTL ファイルの名前を選択します。
[Generate CSR] ボタン またはアイコン	新しい CSR を作成します。
[Close] ボタンまたはア イコン	[Generate CSR] ページを閉じます。

表 19 : [\[Download CSR\] ページ](#), (19 ページ) に、[Download CSR] ページの説明を示します。

表 19 : **[Download CSR]** ページ

フィールド	説明
<b>Status</b>	[Download CSR] ページの現在のステータスが表示されます。
<b>Download Certificate Signing Request</b>	
Certificate Name	プルダウン メニューを使用して、ダウンロードする CTL ファイルの名前を選択します。
[Download CSR] ボタン またはアイコン	[Download Certificate Signing Request] セクションで指定した CSR をダウンロードします。
[Close] ボタンまたはア イコン	[Download CSR] ページを閉じます。

表 20 : [\[Certificate Configuration\] ページ](#), (19 ページ) に、[Certificate Configuration] ページの説明を示します。

表 20 : **[Certificate Configuration]** ページ

フィールド	説明
<b>Status</b>	[Certificate Configuration] ページの現在のステータスが表示されます。

フィールド	説明
Certificate Settings	証明書に関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイル名</li> <li>• 証明書の名前</li> <li>• 証明書タイプ</li> <li>• 証明書グループ</li> <li>• 説明</li> </ul>
Certificate File Data	証明書ファイルの内容が表示されます。
[Delete] ボタンまたはアイコン	現在の証明書を削除します。
[Download] ボタンまたはアイコン	証明書をローカル システムにダウンロードします。

#### 関連トピック

[Certificate Management](#)

## Certificate Monitor

[Security] > [Certificate Monitor] を選択すると、[Certificate Monitor] ページが表示されます。

#### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

#### 説明

[Certificate Monitor] ページを使用して、次の操作を実行します。

- 開始時刻を指定する
- 頻度を指定する
- 電子メール通知をイネーブルにし、通知先の電子メール アドレスを入力する

表 21 : [\[Certificate Monitor\] ページ](#), (21 ページ) に、[Certificate Monitor] ページの説明を示します。

表 21 : [Certificate Monitor] ページ

フィールド	説明
Status	[Certificate Monitor] ページの現在のステータスが表示されます。
<b>Certificate Monitor Configuration</b>	
Notification Start Time	証明書が無効になる何日前に通知を送信してもらうかを入力します。
Notification Frequency	通知の頻度を入力し、いずれかのオプション ボタンをクリックして日数または時間数を指定します。
Enable Email Notification	このボックスをオンにすると、電子メール通知がイネーブルになります。  (注) システムから通知を送信するには、SMTP ホストを設定する必要があります。
Email ID	テキスト ボックスに通知先の電子メールアドレスを入力します。
[Save] ボタンまたはアイコン	[Certificate Monitor] に入力された情報を保存します。

## 関連トピック

[Certificate Management](#)

## IPSec Policy List

[Security] > [IPSec Configuration] を選択すると、[IPSec Policy List] ページが表示されます。

## 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

## 説明

[IPSec Policy List] ページは、既存の IPSec ポリシーを表示したり、新たな IPSec ポリシーを追加したり、既存の IPSec ポリシーを変更したりするために使用します。

表 22 : [IPSec Policy List] ページ, (21 ページ) に、[IPSec Policy List] ページの説明を示します。

表 22 : [IPSec Policy List] ページ

フィールド	説明
Status	[IPSec Policy List] ページの現在のステータスが表示されます。

フィールド	説明
<b>IPSec Policy List</b>	現在設定されている IPSec ポリシーが表示されます。ポリシーに関する [IPSec Policy Configuration] ページへのポリシー名リンクをクリックします。
[Add New] ボタンまたはアイコン	新しい IPSec ポリシーを追加します。[Add New] をクリックすると、[IPSec Policy Configuration] ページが表示されます。[IPSec Policy Configuration] ページの詳細については、表 23 : [IPSec Policy Configuration] ページ, (22 ページ) を参照してください。

表 23 : [IPSec Policy Configuration] ページ, (22 ページ) に、[IPSec Policy Configuration] ページの説明を示します。

表 23 : [IPSec Policy Configuration] ページ

フィールド	説明
<b>Status</b>	[IPSec Policy Configuration] ページの現在のステータスが表示されます。
<b>IPSec Policy Details</b>	
Policy Group Name	
Policy Name	IPSec ポリシーの名前を指定します。
Authentication Method	認証方式を指定します。
Preshared Key	[Authentication Name] フィールドで [Pre-shared Key] を選択した場合は、事前共有キーを指定します。
Peer Type	ピアのタイプが同じか異なるかを指定します。
Certificate Name	
Destination Address	接続先の IP アドレスまたは FQDN を指定します。
Destination Port	接続先のポート番号を指定します。
Source Address	ソースの IP アドレスまたは FQDN を指定します。
Source Port	ソースのポート番号を指定します。
Mode	[Tunnel] または [Transport] モードを指定します。
Remote Port	接続先で使用されるポート番号を指定します。

フィールド	説明
Protocol	次のプロトコルまたは [Any] を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• TCP</li> <li>• UDP</li> <li>• Any</li> </ul>
Encryption Algorithm	ドロップダウンリストから、暗号化アルゴリズムを選択します。選択肢は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• 3DES</li> </ul>
Hash Algorithm	ハッシュ アルゴリズムを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SHA1：フェーズ 1 IKE ネゴシエーションで使用されるハッシュアルゴリズム</li> <li>• MD5：フェーズ 1 IKE ネゴシエーションで使用されるハッシュアルゴリズム</li> </ul>
ESP Algorithm	ドロップダウンリストから、ESP アルゴリズムを選択します。選択肢は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• NULL_ENC</li> <li>• DES</li> <li>• 3DES</li> <li>• BLOWFISH</li> <li>• RIJNDAEL</li> </ul>
<b>Phase 1 DH Group</b>	
Phase One Life Time	フェーズ 1 の IKE ネゴシエーションのライフタイムを秒単位で指定します。
Phase One DH	ドロップダウンリストから、フェーズ 1 の DH 値を選択します。選択肢には、2、1、5、14、16、17、および 18 があります。
<b>Phase 1 DH Group</b>	
Phase Two Life Time	フェーズ 2 の IKE ネゴシエーションのライフタイムを秒単位で指定します。

フィールド	説明
Phase Two DH	ドロップダウンリストから、フェーズ 2 の DH 値を選択します。選択肢には、2、1、5、14、16、17、および 18 があります。
<b>IPSec Policy Configuration</b>	
Enable Policy	ポリシーを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
[Save] ボタンまたはアイコン	[IPSec Policy List] ページの変更内容を保存します。

### 関連トピック

[IPSEC 管理](#)

## Software Installation/Upgrade

[Software Upgrades] > [Install/Upgrade] を選択すると、[Software Installation/Upgrade] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[Software Installation/Upgrade] ページは、ソフトウェアを DVD/CD またはリモートサーバ上のファイルシステムからインストールまたはアップグレードするために使用します。

表 24 : [Software Installation/Upgrade] ページ, (24 ページ) に、[Software Installation/Upgrade] ページの説明を示します。

表 24 : [Software Installation/Upgrade] ページ

フィールド	説明
Status	[Software Installation/Upgrade] ページの現在のステータスが表示されます。
Software Location	
Source	インストール/アップグレードのソースを指定するために使用されるプルダウンメニュー。オプションは [DVD/CD] と [Remote Filesystem] です。

フィールド	説明
Directory	ファイルが保存されているディレクトリの名前。  (注) アップグレードファイルが Linux または UNIX サーバ上に存在する場合は、指定するディレクトリパスの先頭にフォワードスラッシュを付加する必要があります。たとえば、アップグレードファイルが <b>patches</b> ディレクトリに存在する場合は、 <b>/patches</b> と入力する必要があります。アップグレードファイルが Windows サーバ上に存在する場合は、システム管理者に正しいディレクトリパスを確認してください。
Server	ソフトウェアをダウンロードするリモートサーバのホスト名または IP アドレス。
User Name	リモートサーバ上で設定されているユーザの名前。
User Password	リモートサーバ上でこのユーザ用に設定されたパスワード。
Transfer Protocol	使用される転送プロトコルを指定するために使用されるプルダウンメニュー。オプションは [ftp] と [sftp] です。  (注) これらのオプションは、[Source]プルダウンメニューから [Remote Filesystem] を選択した場合にのみ使用することができます。[DVD/CD] を選択した場合は、このプルダウンメニューがグレー表示されます。
[Cancel Install] ボタンまたはアイコン	インストール/アップグレード手順をキャンセルします。
[Next] ボタンまたはアイコン	インストール/アップグレード手順を続けます。

## 関連トピック

[ソフトウェア アップグレード手順の概要](#)

# Ping Configuration

[Services] > [Ping] を選択すると、[Ping Configuration] ページが表示されます。

## 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

## 説明

[Ping Configuration] ページは、ping 要求を送信して他のシステムがネットワーク上で到達可能かどうかをテストするために使用します。

表 25 : [Ping Configuration] ページ, (26 ページ) に、[Ping Configuration] ページの説明を示します。

表 25 : [Ping Configuration] ページ

フィールド	説明
Status	[Ping Configuration] ページの現在のステータスが表示されます。
Ping Settings	
[Hostname] または [IP Address]	ping するシステムの IP アドレスまたはネットワーク名を入力するテキストボックス。
Ping Interval	ping 要求間の時間を秒単位で入力するテキストボックス。
Packet Size	ping 要求のパケットサイズを入力するテキストボックス。
Ping iterations	他のシステムに ping 要求を送信する回数を選択可能なプルダウンメニュー。使用可能なオプションは 1、5、25、または 100 回です。 (注) 複数回の ping を指定した場合は、ping コマンドを入力してもリアルタイムでは ping の日時が表示されません。ping コマンドでデータが表示されるのは、指定した ping の回数が完了した後です。
Validate IPSec	このチェックボックスをオンにすると、システムで IPSec が検証されます。
Ping Results	ping の結果が表示されるテキストボックス。
[Ping] ボタンまたはアイコン	ping 要求を送信します。

## 関連トピック

[別のシステムへの ping 送信](#)

## Remote Access Configuration

[Services] > [Remote Support] を選択すると、[Remote Access Configuration] ページが表示されます。

## 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

## 説明

[Remote Access Configuration] ページは、シスコのサポート担当者が、指定された期間にシステムにアクセスするために使用するリモートアカウントをセットアップするために使用します。アカウント有効期間が経過すると、シスコのサポート担当者はリモートサポートアカウントにアクセスできなくなります。

リモートアカウントを設定すると、システムでパスフレーズが生成されます。

次の手順に従って、リモートアカウントセットアップを完了します。

- 1 シスコのサポート担当者に連絡して、リモートサポートアカウント名とパスフレーズを提供します。
- 2 シスコのサポート担当者はパスフレーズをデコーダプログラムに入力し、パスフレーズからパスワードを生成します。
- 3 シスコのサポート担当者はデコードしたパスワードを使用して、お客様のシステムにリモートサポートアカウントでログインします。

まだリモートアカウントを作成していない場合は、[Remote Access Configuration] ページに移動したときに、新しいアカウントを作成できます。

表 26 : [Remote Access Configuration] ページ, (27 ページ) に、[Remote Access Configuration] ページの説明を示します。

表 26 : [Remote Access Configuration] ページ

フィールド	説明
Status	[Remote Access Configuration] ページの現在のステータスが表示されます。
<b>Remote Access Account Information</b>	
Account Name	新しいリモートアカウントの名前。アカウント名は、6文字以上にし、すべて小文字のアルファベットにする必要があります。
Account Duration	リモートアカウントが存在する期間（日数）。
[Save] ボタンまたはアイコン	新しいリモートアカウントを作成します。[Add] をクリックする前に、[Account Name] と [Account Duration] を入力する必要があります。[Remote Access Configuration] ページが再表示されます。[Remote Access Configuration] ページのフィールドの説明については、表 27 : [Remote Access Configuration] ページ, (28 ページ) を参照してください。

フィールド	説明
[Delete] ボタンまたはアイコン	現在設定されているリモートアカウントを削除します。 (注) [Delete] ボタンまたはアイコンは、既存のリモートアカウントが存在する場合にのみ表示されます。

すでにリモートアカウントを作成していた場合は、[Remote Access Configuration] ページに移動したときに、リモートアカウントが表示され、削除することができます。

表 27 : [Remote Access Configuration] ページ, (28 ページ) に、[Remote Access Configuration] ページの説明を示します。

表 27 : [Remote Access Configuration] ページ

フィールド	説明
<b>Remote Access Account Information</b>	
Account Name	リモートサポートアカウントの名前が表示されます。
Expiration	リモートアカウントが無効になる日時が表示されます。
Passphrase	生成されたパスフレーズが表示されます。
Decode Version	使用中のデコーダのバージョンが示されます。
[Delete] ボタンまたはアイコン	リモートアクセスアカウントの情報を削除します。

## 関連トピック

[リモートサポートのセットアップ](#)